片山かおるのちょっとカエルレ通信

69号

おとなも子どももいっしょに育つ町にしよう

小金井市議会議員

発行日：2017年2月1日
発行・連絡先：小金井市議会「緑・市民自治こがねい」小金井市本町6-6-3

緑・市民自治こがねい　会派ニュース

市民参加で作った「子どもの権利条例」を子どもたちが使いこなせる町にしよう

第1回定例会(3月議会)が始まりました

子どもの権利条例を市民参加で広めよう

2009年に「小金井市子どもの権利に関する条例」が制定されてから8年。おとなや子どもの中に権利条例は広がっているでしょうか。日本が批准している子どもの権利条約にもとづく、市政の基本となる条例です。

1）子育てに関する総合冊子「のびのびこがねいっ子」の改訂にあたり、子どもの権利条例を掲載しないか。子育て支援団体を紹介する重要な冊子であり、熱意ある市民参加の中で作られてきた。冊子の改訂には、市民参加を十分に取り入れ、権利条例の周知に役立てないか。

2）学校での周知はどのような状況か。道徳の教科化とはどのように関連するか。

3）公民館や図書館等の取組みは。本館の子どもの人権講座の他、各館での若者関係、子育て支援関係の講座の中で、条例の周知は。図書館に子どもの権利コーナーを設置しないか。

4）子どもの権利条例独自の推進計画や推進する第三者委員会を設置しないか。

片山かおるの一般質問
(2/7(火)11:00予定)

生活保護への差別、偏見を無くそう

小田原市で生活保護担当職員による、保護受給者への差別が発覚しました。小金井の生活保護行政と生活困窮者自立支援のあり方を確認します。

1）今回の問題について、担当部課の中で話し合いはされているか。

2）ケースワーカーの体制、専門性、研修について。

3）自立生活サポートセンターでの支援の状況は。

福祉会館を利用していた市民の居場所はどうなっているのでしょうか

福祉機器を紹介する「ふれあいセンター」はボランティアの方々によって運営されていました。今はどんな状況なのか。「ふれあいギャラリー」を利用していた市民が活動する代替場所も確保できていません。新福祉会館の建設を検討する際に、これまで利用していた市民の現状を把握することが必要です。

1）ふれあいセンターの事業について。ふれあいギャラリーの代替場所、今後について。

2）福祉会館を利用していた団体や、公民館本館の利用団体の現状について、各公民館の利用者懇談会などを通じて把握できないか。

西岡市長の施政方針に足りないこと、付け加えたいこと

1/26、西岡市長の2017年度施政方針演説がおこなわれ、1/27に質疑しました。

熊本震災にも東日本大震災と原発事故の被害者のことにも触れていません。原発過酷人災事故はいまだ収束しておらず、10万人を超える人々が全国にも小金井にも避難している社会状況を踏まえて、これからの町づくりを語るべきです。

再開発に多額の税金をつぎ込み、エネルギー消費社会を継続している場合ではありません。

また、市民との対話を強調していますが、市民が主役の市政の道筋をつけるためには、市民参加条例の強化や、議会基本条例と対をなす自治基本条例の制定が必要です。

障がい者差別解消法にもとづく条例を制定することは評価しますが、インクルーシブ教育を実現するためにも、多くの市民や当事者が参加する条例づくりを求めます。障がい者団体からも精神障がい者への理解をうながす授業実践を求める要望書が提出されています。

西岡市長は、教育現場や子どもの育つ場への認識がちょっと薄いように思います。ICTの充実だけでは子どもは育ちません。子どもの権利にもとづいた教育と、子どもの育つ場を求めます。

西岡市長初めてのオリジナル予算案が提出

【予算特別委員会 2/20、21、23、28、3/1、2】
一般会計は 399 億 8,200 万円。昨年より 2 億 2,200 万円減っています。

◎注目したい予算

■認可外保育所保護者の助成金アップに 6,528 万円。現行は 0 ～ 3 歳児に月額 1 万円の助成。予算案では 0 ～ 5 歳児が対象で第 1 子が 2 万円、第 2 子が 3 万円、第 3 子以降が 4 万円に増。格差是正にはなりますが、都の補助を活用した時限的なもの。いつまで続くのかが問題。

■新庁舎建設の施設配置や執務環境の調査と新福祉会館建設市民検討委員会に約 3,200 万円。調査をすべて外部委託することと、建設スケジュールがどうなるのかが気になります。

■相談希望が増えたため、女性相談の回数が増えます。92 万円。今は年 47 回（原則金曜日の午後。1 日に 3 人まで相談可能）なので 141 件の相談が受けられました。年 12 回増となるので、177 件の相談が受けられるようになります。

■空き家の実態調査とデータベース化に 1,087 万円。空き家の利活用につながる体制づくりが必要です。

■食品ロスを減らすフードドライブが始まります。1 万 4 千円の予算。集まった食品をフードバンクに送付します。

■生活困窮者の家計相談と学習支援が始まります。1,946 万円。

■ひとり親家庭の親や児童の高卒認定試験の助成に 30 万円。

■武蔵小金井駅南口第 2 地区の再開発の補助金に、今年は 3 億 70 万円。

■小中学校の新たな ICT 機器整備に 2,948 万円。過大な活用が気になります。

■新規開設の認定こども園、認可保育所、小規模保育所や公立園の定員拡充をあわせて、265 人の定員増に。

各委員会の調査が終了。意見要望を出しました。

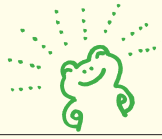
2年間の委員会の任期が終了する際に、各委員会の調査のしめくくりとして、意見要望を出すことになっています。定例会中の各委員会で発言をします。総務企画委員会では、庁舎と公共施設再配置がテーマでした。これからの共生社会を体現する、福祉施策の推進を前面に出した庁舎を検討し、市民参加を重視すること、といった意見を提出。
議会運営委員会には、議会基本条例の運用に市民参加を取り入れること、という意見を提出。
資源循環型社会推進調査特別委員会では、ごみを出さないライフスタイルを実現するためインセンティブのある減量施策と、清掃関連施設の再配備の際は、おしゃれなカフェを併設し、意識啓発の施設に変えていくことが必要、といった意見を提出しました。

「沖縄の辺野古・高江の自然を守り、民意の尊重を求める」意見書の提案を検討中

「沖縄の辺野古・高江の米軍関連施設建設による自然への影響を再検証し、民意の尊重を求める意見書」を出してほしい、という要望書が市民から各会派に出されました。この間、同様の意見書は、9月議会で否決、12月議会では取り下げ、といった状況となっています。各会派とよく協議して作成し、なんとか可決に持ち込みたいところです。
※その他、「緑・市民自治こがねい」からは、原発関係のふたつの意見書を提案しようと考えています。

庁舎に関する市長からの報告が2/7に予定

2/7の一般質問終了後、庁舎と福祉会館について、市長からの報告が予定されています。市政全体の財政計画、福祉会館の場所をどうするのか、市長の方針は示されるでしょうか。



議会日程

1/26（木）本会議　初日（12:00まで）
1/27（金）本会議
1/30（月）1/31（火）本会議
2/1（水）一般質問
2/3（金）一般質問
2/6（月）一般質問　坂井の質問は10:00予定
2/7（火）一般質問　片山の質問は11:00予定　終了後、庁舎に関する市長の報告（予定）
2/9（木）厚生文教委員会
2/13（月）議会運営委員会
2/15（水）建設環境委員会
2/17（木）総務企画委員会
2/20（月）2/21（火）予算特別委員会
2/23（木）予算特別委員会
2/28（火）3/1（水）3/2（木）予算特別委員会
3/3（金）行財政改革調査特別委員会
3/6（月）資源循環型社会推進調査特別委員会
3/7（火）予備日
3/8（水）整理日
3/9（木）本会議　最終日
※すべて基本的には10:00開始。
問合せは議会事務局（042-387-9947）まで

片山かおるプロフィール

1966年生れ。総務企画委員、資源循環型社会推進調査特別委員、議会運営委員。市民グループ「市民自治こがねい」共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。全国フェミニスト議員連盟、市民自治をめざす三多摩議員ネット、緑の党、「原発事故子ども・被災者支援法」推進自治体議員連盟、「なくそう！子どもの貧困」全国ネットワークなどにも参加。

◇片山かおる　連絡先◇
小金井市中町4-17-11　TEL&FAX:042-316-1511
http://katayamakaoru.net/　office@katayamakaoru.net
ツイッター、フェイスブックは「片山かおる」で検索

●ご意見、ご感想をお寄せください